



佐野テックの従業員たち

いたり、広告を出したりします。年三回、「カイゼン見学会」という工場見学会も行います。地域貢献の一環で、菰野町で毎年開かれる「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」への協賛、社内の会議室を地域の一般の方に開放しバレットン教室・ヨガ教室として利用してもらっています。これらは全て私たちのことを知ってもらえる機会につながっています。

「中小企業は発信力が弱い」。当社佐野テックの会長が常々口にする言葉です。大企業のようにテレビや新聞雑誌等のメディアに頻繁に登場し商品やサービスなど「その企業が何をしているか」を伝える機会がほとんどありません。

当社も例に漏れず、知っている方は多くありません。当社は、皆さまが普段何げなく使われる道路や橋を下から支える「橋梁免震支承金物」と呼ばれる金物を主に製作する鉄工所です。

また、鉄工所ですが、木造・鉄骨造を問わず住宅・工場・店舗・倉庫等の設計から施工まで行う総合建築業も営んでおります。このよつな事業内容を知っている人は当社のお客さまや協力会社など、わずかです。

当社もホームページを開設したり、地元の新聞・雑誌・フリーペーパー等に記事にしていたら

## 中小企業 発信強化を

そんな折、二〇一四年の「三重のおもてなし経営企業選」の受賞をきっかけに、ガクレポさんから取材を受けました。大学生の目線で会社を見ていただき、新鮮な意見をいただくことで、非常に刺激を受けました。ポイントの取り方や取材の進め方などが高いレベルで行われ、驚いたことを覚えていきます。今回のこの記事はガクレポの学生さんからいただいた一件の依頼メールがきっかけです。

「中小企業は発信力が弱い」。この言葉に思わずうなずいてしまった中小企業の皆さま、今後、積極的な発信の機会を探ってみてはいかがでしょう？ この記事のように、さまざまな発信機会に出合えると思います。

最後にガクレポの皆さん、これからも隠れた魅力ある三重の企業への取材を楽しみにしています。

(株式会社佐野テック代表取締役  
・佐野貴代)